2022 1.31 vol.987

JA全農ウィークリー WEEKLY

3面 神奈川県育成のイチゴ新品種「かなこまち」デビュー
（神奈川県本部）

「1日1杯牛乳を飲んで」駅前で牛乳配布（2面）

地域食堂活動を行うNPOに県産農産物加工品を贈呈（2面）

小田原市公設青果地方卸売市場で開かれたお披露目式（3面）

6-7面 全農グループ会社探訪 全農物流株式会社（広報・調査部）

2 **駅前で牛乳配布 牛乳と酪農を取り巻く環境も伝える**
（長野県本部）

食料支援が必要な大学生を支援するNPOへ 県産米・県産農産物加工品を贈呈
（山梨県本部）

3 **中国で春節の贈答向け高級ジュースを発売**
（JA全農インターナショナル㈱）

4 **大分県内最大級のセルフJA-SSオープン**
（大分県本部）

「やまがた雪やさい」取り組み4年目 産地を押し出しPR
（山形県本部）

5 **JAズームイン**（新潟：JAひすい）

8 **「NHK歳末たすけあい」に寄付**
（広報・調査部）

「ピュアラルグミ 完熟かぼす」新発売
（営業開発部）

JAタウンショップ紹介
埼玉・暮らしのとなりが産地です（埼玉県）

Web版JA全農ウィークリーはこちらから ▶▶▶▶▶▶▶
https://www.zennoh-weekly.jp/

Web限定
JAグループのレシピを集めたアプリ「エプロンシェア」アンドロイド版をリリース
（経営企画部）

イチゴ主産9県合同物販フェア開催
（園芸部）

News!

「1日1杯牛乳を飲んで」駅前で牛乳配布

牛乳と酪農を取り巻く環境も伝える

長野県本部

長野県本部は、牛乳の消費が低迷する年末年始に合わせ、JR松本駅前と長野駅前で県産牛乳を配布し、消費拡大をPRしました。

松本駅前では2021年12月23日に通勤・通学利用者、25日はクリスマスに合わせた買い物客、長野駅前では28日に通勤・通学利用者各1000人に、200ml入りの牛乳と、牛乳と酪農を取り巻く環境を記載したパンフレットを配布しました。

牛乳を配布する生産者（23日JR松本駅前）

生産者と県本部職員が「ご家庭でも牛乳の消費にご協力をお願いします」と言いながら配布すると、駅の利用者は「大変な時だけど、頑張ってください」と受け取ってくださいました。

JA長野県ビルの食堂「しなの木」でも1月中旬まで休日を除く毎日、牛乳200本を配布し、「1日1杯牛乳を飲みましょう」と消費拡大を訴えました。

News!

地域食堂活動を行うNPOに県産農産物加工品を贈呈

フードパントリーで大学生らに配布

山梨県本部

山梨県本部やJA、中央会らで組織するJAグループ山梨は2021年12月17日、山梨県内で地域食堂活動を行っている「NPO法人にじいろのわ」へ活動支援として、前年度に引き続き、県産米・県産農産物加工品を贈りました。

今回の贈呈品は、山梨県産桃果汁100%ジュース「ノももン」や山梨県産米、県産米を使用した切り餅で、さまざまな事情により食料支援が必要な大学生らに食品を配布するフードパントリーに役立てていただきました。

12月17日に甲府市にあるJA会館で行われた贈呈式では、JAグループ山梨を代表してJA山梨中央会の澤井實会長、中澤昭副会長、山梨県本部の梶原県本部長が参加し、にじいろのわの内藤陽一理事に贈呈品を手渡しました。

JAグループ山梨は今後も同団体への協力を継続し、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に取り組んでいきます。

（左から）山梨県本部梶原県本部長、JA山梨中央会澤井会長、NPO法人にじいろのわ内藤理事、JA山梨中央会中澤副会長

News!

県育成のイチゴ新品種「かなこまち」デビュー

卸売市場でお披露目式開かれる

神奈川県本部

神奈川県本部は、2021年12月24日に小田原市公設青果地方卸売市場でお披露目された神奈川県オリジナルのイチゴ「かなこまち」の利用許諾契約を県と締結しました。「神奈川県いちご組合連合会」の事務局として、23年からの本格的な生産販売に向け、サポートしていきます。

小田原市公設青果地方卸売市場で開かれたお披露目式

「かなこまち」は、他県との差別化を図るため、神奈川県農業技術センターが育成した品種です。「紅ほっぺ」と「やよいひめ」を交配して2017年に誕生、20年9月2日に品種登録が出願されました。高い糖度、酸味と甘味のよいバランス、2L～3Lの割合が多く大粒であることが特徴です。名前は「神奈川県生まれの美しくておいしいイチゴ」という思いから付けられました。

21年6月から県内のイチゴ生産者で組織する神奈川県いちご組合連合会の一部の生産者（53人）が栽培を始めました。主な栽培地域は、横須賀市、小田原市、秦野市、厚木市、海老名市などです。今年は4月ごろまで、県内の農産直売所「すかなごっそ」「はだのじばさんず」「夢未市」「海老名グリーンセンター」で販売予定です。

今年度デビューした「かなこまち」

News!

中国で今年も高級ジュースを発売開始

富裕層向け春節贈答需要がターゲット

JA全農インターナショナル㈱

JA全農インターナショナル㈱は、ホクレン、サントリーグループと共同で開発した輸出向けの高級商品「JAPAN SELECTION 北海道りんごジュース」を、昨年に続き今年も中国で発売を開始しました。

この商品は、中国の富裕層をターゲットとして、今年は2月1日に元日を迎える春節の贈答用需要を狙い、全農の現地法人である全農（上海）貿易有限公司が輸入者となって、主にサントリー中国法人のECサイトでPR、販売します。原料は北海道余市産のリンゴに限定して製造し、700ml瓶1本入りと2本入りの2種類の化粧箱入りでラベルデザインも一新しました。また、中国でも人気の石川佳純選手（全農所属）を販売サイトのPR動画に起用し、注目を集めています。

日本から輸出される農産物加工品は海外から輸入された原料を使用したものが多いですが、JA全農インターナショナルは、国産原料を使用した加工品を輸出する事業モデルを拡大し、新たな海外需要を開拓することで、日本産農畜産物の消費拡大に貢献していきます。

ラベルデザインを一新した「JAPAN SELECTION 北海道りんごジュース」

石川選手が動画でPR

News!

大分県内最大級のセルフスタンドオープン

九州のJA-SSでは初の洗車機２台配備

大分県本部

全農のグループ会社である全農エネルギー㈱がJAおおいたから業務委託を受け運営する「JASS-PORT植田（わさだ）」が、2021年12月16日、大分市植田にオープンしました。オープンに先駆け、JAおおいた、大分県本部、全農エネルギーの関係者が出席し、開所式が行われました。

開所式では、全農エネルギーの和田雅之代表取締役社長が「今後も組合員や地域の方々から愛されるスタンドを目指していきたい」とあいさつしました。その後、和田社長ら関係者5人がテープカットを行い、JASS-PORT植田の門出を祝いました。

九州のJA-SSでは初の洗車機2台を配備しました。拠点規模・設備共に大分県内最大級のセルフスタンドとなっており、給油時・洗車利用時の二次元バーコード決済にも対応できる最新の設備が備わっています。

大分県内最大級のJASS-PORT植田

開所式であいさつする和田社長

洗車機２台を配備

News!

「やまがた雪やさい」産地を押し出しPR

取り組み４年目、さらなる認知度向上目指す

山形県本部

山形県本部とJAおいしいもがみは、豪雪地帯ならではの特産品「やまがた雪やさい」の認知度向上を図るため、動画や販促資材などを作成し、積極的なPR活動を行っています。

「やまがた雪やさい」は、温度0度、湿度90%以上の雪下・雪室で保管されたニンジンやキャベツなどの冬野菜です。野菜に付加価値を付け、長期的な販売機会を作ることで生産者の手取り向上に結び付けようと、山形県とも連携し、2018年から生産・販売に取り組んでいます。

山形県本部では、消費者に産地の取り組みを知ってもらおうとPR動画を作成し、園芸部のYouTubeチャンネル「山形の旬！らふらんチャンネル」で公開しています。動画は、目ぞろい会の様子や生産者のPRコメントを織り交ぜ、産地の取り組みが具体的に見える内容となっています。

雪の中で保管されることで雑味や青臭さが抜け、甘味が強く感じられるようになると言われている「やまがた雪やさい」。2月末ごろまで、山形県内や首都圏のスーパーで販売しています。

産地で一丸となって取り組んでいます

雪国の知恵を生かした「やまがた雪やさい」

「やまがた雪やさい」のPR動画はこちらから

JAズームイン

おいしく地産地消「越の丸茄子」の魅力再発見

JAひすい（新潟県）

概要	令和3年2月28日現在
正組合員数	2719人
准組合員数	9084人
職員数	202人
販売品取扱高	10億1千万円
購買品取扱高	14億7千万円
貯金残高	876億1千万円
長期共済保有高	2156億7千万円
主な農産物	越の丸茄子(ナス)、越後姫(イチゴ)、メロン、コシヒカリ(米)、新之助(米)

レモンなすカッシュを提供する部会員

JAひすいは新潟県の最西端に位置し、特産品の一つである「越の丸茄子」の生産・消費拡大に取り組んでいます。越の丸茄子は直径が9センチほどあり、色つやがよく、締まった肉質と強い甘味が特徴のブランド野菜です。栽培開始から40年の歴史を持ち、主な出荷先の豊洲市場では高品質かつ良食味であることから高い評価を受け、高級料亭でも取り扱われています。

イベント通じ、越の丸茄子の魅力伝える

生産組織「JAひすい丸なす部会」は越の丸茄子の知名度向上を図るため、「まるっとNasutival（ナスティバル）」と題し、さまざまなイベントを開催しています。

まるっとNasutival会場内の様子

第1回は2021年7月に糸魚川市駅北広場キターレで開催し、越の丸茄子を実際に味わうことでその魅力を感じてもらおうと、飲食店2店舗および料理講師とコラボしたイベント限定メニューを提供しました。同会が提供した「レモンなすカッシュ」は、ナスの色素を生かした、色鮮やかですっきりとした飲み口のドリンクです。シロップ漬けにしたナスの果肉がフルーツのように感じられ、特有の食感も楽しめると来場者から好評を博しました。また、栽培の歴史やレシピなどを掲載したリーフレットを作成し、産地の情報発信ツールとして活用しています。

越の丸茄子入りスペインオムレツを作る親子

第2回は同年10月に糸魚川市農林水産業振興協議会主催の下、料理教室を開催しました。女性農業者2人が講師を務め、越の丸茄子の他、新米やエダマメ、イノシシ肉など糸魚川産の食材をふんだんに使い、計5品を調理しました。食材の扱い方や調理のこつを参加者同士で教え合う姿も見られ、交流が生まれるきっかけや、地産地消の意識の醸成につながりました。

料理教室で調理した料理

全農グループ会社探訪

全農物流 株式会社

輸送、倉庫保管、作業受託 JAグループの物流担う

全農物流㈱は「陸上輸送」「海上輸送」「倉庫保管」を柱に、JAグループの物流を担っています。全国70カ所の事業拠点と主要協力会社約600社と連携した全国ネットワークを構築し、全国各地で農家が生産した農畜産物を消費地へ、農業生産に必要な営農資材などを生産地や農家の元へ届けています。【広報・調査部】

全農物流は、第12回全国農協大会（1970年）の決議を受け、71年に物流業務の専門会社（旧）㈱エーコープライン）として設立されました。75年にはくみあい飼料工場の再編で流通倉庫の増強を行うとともに、冷蔵倉庫事業へ進出。76年に海運会社の㈱エイコーラインと合併し、自社船による海運事業の取扱強化と、陸上・海上輸送を複合・連動する物流機能を拡充しました。さらに98年から2009年にかけて各県くみあい運輸と合併し、物流機能の強化発展に取り組みました。

そして07年12月に社名を「㈱エーコープライン」から「全農物流㈱」へ変更しました。

タンク専用の洗浄施設を保有し、品質保持と衛生管理を強化

主な業務は「輸送」「倉庫保管」「作業受託」

取り扱う品目は、農家が生産した米穀をはじめ青果や生乳などの農畜産物や、農家が生産するために使う飼料や肥料・農薬などで、これらの輸送（トラック・鉄道・船舶）や、保管（普通・低温・冷蔵倉庫）などの事業を展開しています。

輸送では、青果物はコールドチェーンへの対応、生乳はコールドセンターの運営の受託や運搬にミルクタンク・ローリーを配備するなど、品目に合わせ品質管理を徹底しています。海上輸送では内航船による国内輸送と、東アジア・東南アジアから近海船による飼料や肥料などの外航輸送を行っています。

倉庫保管では自社倉庫14カ所の他、約100社の協力倉庫会社と連携し、米・麦・大豆を中心に約115万㌧扱っています。神戸市には保管能力2万㌧の冷蔵倉庫も所有し、保税業務や加工包装、小口トラック配送など、多様なサービスを提供しています。

また、JAや全農県本部から農家戸配送業務や作業を受託し、物流センターから農家まで肥料・農薬や飼料などを配送しています。近年では、タイヤやフォークリフト、プラスチックパレットなど物流関連資材の販売やレンタルも行っています。

秋田支店が導入した大型冷蔵車両

農業物流の専門家として頼れる存在に

代表取締役社長 **寺田 純一** 氏

JAグループの物流会社として、販売物や営農資材をきちんと届けることが我々の仕事です。天候にも左右される農畜産物の輸送に対応するため、コールドチェーンや倉庫を整備し、スムーズな物流に取り組んでいます。農業物流は産地側、受け手側の要望もさまざまで多岐にわたります。多様な流通を担ってきたからこそ得たノウハウを生かし、農業物流の専門家として関係機関と協力し高品質で合理的な物流サービスの提供を目指していきます。

生産者と消費者の懸け橋となり、確実に運ぶ使命を果たすためにも、物流諸課題の解決に取り組みます。そして、ビジョンに掲げる「日本の『食』を支え、農業物流のトップランナーになります」を実現します。

関係機関と協力し物流課題に取り組む

自社船2隻を含め13隻の内航船や近海船で飼料・肥料を大量一括輸送

物流業界が抱える課題として、慢性的なドライバー不足に加え、ドライバーの時間外労働に罰則付きの上限規制が適用される「2024年問題」への対応が挙げられます。特に、手荷役や長時間待機などドライバーの負担が多い農産物輸送は、「運べない（運べなくなる）リスク」が高いと言われています。米輸送では手荷役のない物流を目指し、全農米穀部と連携した「全農統一フレコンの導入」や「紙袋輸送時のパレット化」を開始しています。他品目でもトラック輸送から船舶、鉄道などに切り替えるモーダルシフトや中継輸送、IT導入などの取り組みを進めています。

また、埼玉県久喜市に同社では関東初の冷凍・冷蔵倉庫の建設に着工しました。常温保管や米穀などを低温保管する低温機能に加えて冷凍・冷蔵機能を有し、多様化するお客さまのニーズに柔軟に対応します。

この他、本年1月に開設された全農の東海・近畿広域部品センターの受発注、在庫管理、配送などの業務を担う「東海近畿農機部品事業所」を新たな事業拠点として設置しました。今夏には、福岡県筑後市の全農パールライス㈱福岡工場隣接地に新たな低温倉庫を竣工します。

全農統一フレコン

会社の概要（2021年12月1日現在）

本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目13番地7
事業内容	陸上輸送事業、海上輸送事業、倉庫事業、タイヤ・フォークリフト等の販売事業
設立年月	1971年3月10日
代表者	寺田 純一
従業員数	1284人（臨時・パート・出向受入等含む）

全農物流が保有する倉庫の中で保管能力最大の宮城倉庫

公式ホームページはこちら

http://www.zennoh-butsuryu.co.jp/index.html

全農物流が販売する「米ぬか」から生まれた化粧品「inaho」と「こめ油」を各5名様にプレゼントします（築野食品工業㈱製造）。

「inaho」化粧品セット（せっけん・化粧水・クリーム）、こめ油（750g）3本セット

応募方法 件名に「グループ会社探訪プレゼント」、本文に希望の商品、郵便番号、住所、氏名、年齢、所属JA、電話番号、JA全農ウィークリーの感想をご記入の上、メールにてご応募ください。

応募先 zz_zk_zennohweekly@zennoh.or.jp

締め切り 令和4年2月11日（金）23時59分

※応募者多数の場合は抽選で当選者を決定いたします。また、当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用いたします。

ごちそうさまのカタチ
JA全農提供　BSフジ(BS8チャンネル)
全国各地でスポーツや芸術などを頑張る子どもたちを地元の特産品で応援！
毎週水曜21:55～22:00(再放送は毎週火曜22:55～23:00)

「NHK歳末たすけあい」に寄付

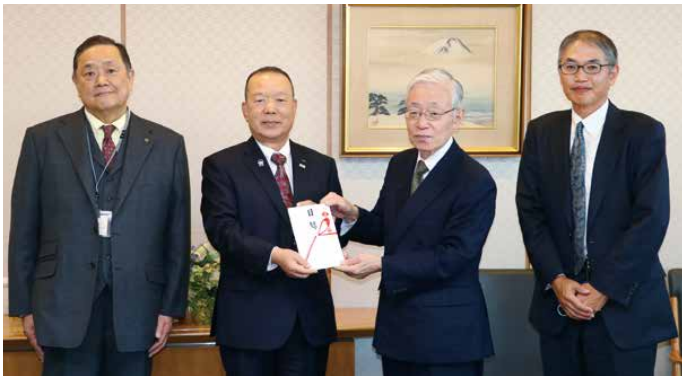
イベントの売上金など約345万

全農は2021年12月16日、東京都渋谷区のNHK放送センターで、「NHK歳末たすけあい」へ寄付金を贈りました。
【広報・調査部】

全農は毎年社会貢献活動の取り組みの一環として「NHK歳末たすけあい」へ、イベントの売上金などを寄付しています。

今年は、イベントの売上金の他、各都府県本部が直営店舗や職場、事業所などに設置した共同募金箱で集めた募金を合わせ、345万7834円となりました。

募金は共同募金会を通じて、国内の福祉施設や支援を必要とする方々のために役立てられます。



左より、東京都共同募金会 加納常務理事、全農 菅野会長、NHK 前田会長、松崎理事

「ピュアラルグミ 完熟かぼす」新発売

カバヤ食品(株)と共同開発

全農はカバヤ食品㈱と、大分県産の完熟カボスの果汁を使用した「ピュアラルグミ 完熟かぼす」を開発しました。
【営業開発部】

カボスは通常、緑色の果実を出荷しますが、収穫時期に収穫が間に合わず圃場(ほじょう)に残ってしまったカボスは、太陽の光をいっぱいに浴び黄色く色づき「完熟かぼす」になります。

傷みやすく、生果での流通が難しい「完熟かぼす」をSDGsの観点に基づき使用しました。

「ピュアラルグミ 完熟かぼす」は、「そとフワ、なかプル」のやわらか食感グミで、完熟したカボスのまろやかな甘酸っぱさと心安らぐジューシーな香りを実現しました。

カバヤ食品㈱の本社工場(岡山県岡山市)で製造し、九州エリアを中心にコンビニエンスストアなどで1月25日から販売しています。

JA全農のインターネットショッピングモール
JAタウン ショップ紹介

埼玉・暮らしのとなりが産地です

「あまりん」は、約10年かけて作り上げた埼玉生まれ埼玉育ちの新品種のイチゴです。観光イチゴの産地でもある埼玉県秩父市出身の落語家、林家たい平さんに命名いただきました。

「あまりん」は色つやが良く、鮮やかな赤色が映える形の整った果実が特徴です。酸味が抑えられているため、甘さが際立ち食べやすいことも魅力となっています。

まだまだ希少な埼玉オリジナル品種のイチゴ「あまりん」を、ぜひこの機会にご賞味ください。

埼玉県産いちご「あまりん」……3800円(税込み)

ご注文はこちらから

▶ JAタウンはこちらから　https://www.ja-town.com
▶ お問い合わせは　shop@ja-town1.com

発行／全国農業協同組合連合会　2022年(令和4年)1月31日発行(毎週月曜日発行)
第3383号　編集・発行人／広報・調査部　新妻成一
〒100－6832 東京都千代田区大手町1丁目3番1号JAビル　TEL03(6271)8055

『JA全農トピックス』のツイッターはこちらから

私たち全農グループは、生産者と消費者を　安心で結ぶ懸け橋になります。